



ドゥルーズ没後20年シンポジウム

# 反時代的な未来のために

*Vingt ans après la mort de Deleuze : pour un avenir intempestif*

日時：2015年11月22,23日

場所：早稲田大学・小野記念講堂

入場無料、事前予約不要（各講演は60-80分、休憩10分、質疑応答20-30分で構成）

## 11月22日（日）「ドゥルーズと政治」

10:00-12:00 鹿野 祐嗣（早稲田大学、日本学術振興会特別研究員 DC2）「革命的アナーキズムの存在論、あるいは存在論的な革命のアナーキズム——60年代のドゥルーズ哲学について——」

13:00-15:00 廣瀬 純（龍谷大学）「共通概念と傷」

15:10-17:10 小泉 義之（立命館大学）「ドゥルーズのポスト・デモクラシー——来たるべき民衆と来たるべき領土」

17:20-18:50 共同討議・質疑応答 司会＝藤本 一勇（早稲田大学）

## 11月23日（月・祝）「ドゥルーズの記憶と未来」

10:00-12:00 江川 隆男（立教大学）「ジル・ドゥルーズの基本概念について」

13:00-15:00 鈴木 泉（東京大学）「ドゥルーズ哲学を要約するかもしれない二、三の定式について——ドゥルーズは哲学に本当のところ何を寄与したのか——」

15:10-17:10 宇野 邦一（立教大学）「「器官なき身体」の過程」

17:20-18:50 共同討議・質疑応答 司会＝藤本 一勇（早稲田大学）

主催：早稲田大学文化構想学部 表象・メディア論系

早稲田大学文学部 哲学コース

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

「近代日本の人文学と東アジア文化圏—東アジアにおける人文学の危機と再生—」